

【22_011/技術系メルマガ】トレードの『目線』を決めることが、『マルチタイムフレーム分析』の基本要素

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です！

先日は、今後扱ってほしいテーマに関してツイートでのアンケートだけでなく

わざわざメールでご意見を下さった皆さんも、本当にありがとうございます。

まだお返事が返し切れていないですが、順にチェックしてお返しますね。

今日は、先週あたりから徐々に書き進めていたブログを更新しました。

これは、現在進めている【デイトレ講座】の内容に対して理解を進めてもらうのにも

非常に重要な基本概念の話になっています。

▼「無駄なエントリー」を減らす秘訣は『目線の固定』 押さえるべき2つの要素 ▼

https://kuro-gaki.com/blog_220111/

※クリックするとポイントが付与されます

今日のメールでは、記事内に記載した『目線固定』の具体的な考え方についての補足説明をします。

ブログ本文内では、『日足以上の中長期環境』の中で空間と、大まかな目線方向を把握し『短期足分析でその日の流れを見て目線を固定する』と書いています。

もう少し補足をすると

ブログ内ではボリュームの兼ね合いであまり細かく書ききれなかったのですが

これこそが『マルチタイムフレーム分析』の根本かつ、基本のポイントなのです。

『マルチタイムフレーム分析』という概念自体が非常に抽象的なものなので

言葉自体は聞いたことがあっても、「それが何なのか？」と聞かれて

明確に「これです！」と答えられる人は少ないと思います。

僕の中で現在のところ結論付けている『マルチタイムフレーム分析』の基本概念(定義・目的)とは

～～

複数の時間足 で 自分の目線方向 にトレードできそうかアタリをつける作業

～～

としています。

そのために、各時間足の中で基準とすべき 線引き トレンド判断 空間把握 によって『目線を固定』する。

そのうえで『足元の流れ』が『目線』と一致しているかを確認するために 短期足分析 を併用する。

これらの細かい分析手法の各論は、デイトレ講座内でもチョコチョコ出てきますが

こういったパーツの組み合わせ方に『一貫性』を持たせるためにも、インプットした後は時間をかけて

検証母数を集めていくようにしてください。

最初は慣れずに時間がすごく掛かるとは思いますが、数をこなすうちに慣れて無意識にできることが増えてきます。

この辺の『慣れ』の概念についても、いずれ言語化してお伝えしていこうと思います。

それでは、今日はこの辺で！

クロガキ(クロ)

